

各部会の報告（運営会議実施日：8月3日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和8年 7月 1日（水）13：30～15：00	参加人数 23名
今月は事例検討を行った。 事例の内容としては、現在就労Bを利用している知的の高齢の方で、何を聞いても「大丈夫」と返答し、本人の意思確認が難しい状況の方で、体力低下等で今後の生活を検討していく中で、相談支援専門員として、他の選択肢を提示すること等、どのようにアプローチしたら、本人が意志決定できるかのアドバイスがほしいとのこと。 まずは、参加者でこの方の情報、生活歴等を整理し、本人の強み、課題、自分だったらどうする等の意見を出し合った。 出た意見から、本人の強みがたくさんあることを再確認でき、サービスについては、生活介護等の情報提供や、余暇支援の充実、体調面、認知症予防の繋がりを再度見つけることから、まずは関係構築ができるよう今後一緒に見学等を始めていくことの確認ができた。 その後、情報交換を行い、事業所の近況報告と圏域相談事業所の相談等の情報を共有した。 次回開催予定 ○令和8年度 8月 5日（水） 13：30～15：00		
精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和8年 7月 15日（水）13：30～15：00	参加人数 30名
今月の内容は、「医療」をテーマに、病院（厚生病院、帯広病院、緑ヶ丘病院、大江病院、訪問看護の担当者にグループのマスターになって頂き、日々感じていることや聞きたいこと等を話し合える場として、ワールドカフェでグループワークを行った。 精神障がいの方への支援について、各病院の入退院等の実情や、地域の現状、訪問看護をはじめとする医療との繋がり方等について話題提供があった。 地域で安心して暮らすために、「医療」の現状や生きづらさを抱えている課題について、各ブースで話をした。 共通して出ていた話題として、受診に繋がりづらい方で、本人の思いを汲み取る難しさが支援者から共通して上がっていた。 また、長期入院等、退院後の地域の受け入れ先の現状についてや、個人情報の開示についての確認ができた。 グループワークを行い、関係機関同士、近くで話せる機会を持つことで、顔の見える関係作りができ、それぞれの専門性を活かして、役割分担をしながら地域の体制作りをしていくことを参加者で共有できた。 次回開催予定 ○令和8年8月19日（水）13：30～15：00		

こども支援部会		
前回の開催内容報告	令和 8 年 7 月 29 日（水） 9：30～11：45	参加人数 101 名
帯広市教育研究所夏季研修講座との合同開催。講義Ⅰでは「その時 あなたは どう動く？～抱え込まない 子どもを守るチーム支援」をテーマに、児童虐待における基礎知識とともに、対応方法等について学んだ。講義Ⅱでは、「ヤングケアラー支援～学校や、子どもにかかわる関係機関の役割と対応」をテーマに、ヤングケアラーの現状と子どもと関わる立場でできることについて学んだ。当日は、こども支援部会構成員のほか、帯広市内の小中学校教諭が多数参加しての部会となった。講義内での事例検討や情報交流会では、教育現場と福祉現場の職員が意見交換を行う貴重な機会となった。		
次回開催予定		
第 3 回こども支援部会 令和 8 年 12 月 8 日（火） 保健福祉センター多目的ホール		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和 8 年 7 月 21 日（火） 14：45～17：00	参加人数 14 名
サポートブック・事例検討(災害対策)・移行期医療プロジェクトを開催。サポートブックについては見直しと配布先について確認した。事例検討については、2 例のモデル事例をもとに、災害対策について話し合った。移行期医療については北海道移行期医療センターの活動と連携し、今後の活動に繋げていくことを確認した。		
次回開催予定		

就労支援部会		
前回の開催内容報告	令和 8 年 7 月 16 日（木） 10：30～12：30	参加人数 30 名
十勝障がい者総合相談支援センターの門屋理事長による市民活動プラザ六中の施設概要説明と就労支援の昔と今の変化について、とかち共同作業所の住友管理者、ワークサポートふれあいの富田代表による事業所（就労 B）の設立の経緯や取組み等説明を行った後、場所を移動し、14～15 名ずつ 2 班に分かれて、説明を交え各事業所の見学を行った。 利用者のできることを増やし自信に繋げその人にあった個別支援を行いながら工賃向上に繋げる大切さを意識づけできた。 今後、高齢化が進み介助が必要になり、通所できなくなるという事業所共通の課題がある。他の施設を見学することはないため興味深く、質問し課題の共有が図られた。		
次回開催予定		
令和 8 年 11 月 14 日（土） ・詳細については後日ご案内します。		